

◆奇跡のリンゴ◆ 木村氏の 自然栽培農学校が5月開校

「北海道木村秋則自然栽培農学校」（余市郡仁木町）が5月8日に開講する。10期目を迎えた今年も自然栽培の基礎から販売、流通の実践まで幅広く学ぶことができる。

◆奇跡のリンゴ◆で知られる弘前市在住の木村秋則氏が校長を務める「北海道木村秋則自然栽培農学校」は、後志管内の仁木町や余市町にある農園で自然栽培を実

践。リンゴやブドウなどの果実や野菜を育てている。講義では木村氏が、土壌や種についての基本的な知識から栽培の実践、作物の販売・流通までを幅広く伝授する。例年、全国から生徒が集まっており、今期の募集は一般80人、学生20人の計100人。

副校長を務める村松法律事務所長の村松弘康氏は「EUでは『欧州グリーンマイル』を定め、化学農薬50%、化学肥料20%を削減し、農地の25%を有機農業に転換することを直近の目標に行動をおこしている。立ち遅れる日本でも、農林

水産省が有機農業の面積を2030年までに約2・6倍にするなど需要喚起を表明した。当事務所でも持続可能な社会に向け、社会貢献活動の一環として自然栽培の第一人者である木村秋

則氏の指導を受け、有機農業経営者の育成に貢献したい」と語る。

申し込み、詳細は☎011・281・0757（メール）farm.hokkaido@gmail.comまで。



村松弘康副校長（左）と木村秋則校長